

第2部

高齢者等の現状

第1 高齢者世帯の状況

1 世帯の推移

(1) 全世帯と高齢者世帯

人口が減少に向かっているのに、世帯数は増加を続けています。特に、高齢者のいる一般世帯は、著しく増加しています。これは、高齢者の世帯数（家）が増加しているのではなく、人口の高齢化の結果です。また、「65歳以上の単身世帯」「夫婦のいずれか又は両方が65歳以上の夫婦のみの世帯」が増加しています。これらのことは、高齢化と同時に核家族化が進行していることを表しています。

表2-1 全世帯と高齢者世帯の推移 (全世帯=100%) 単位：世帯(%)

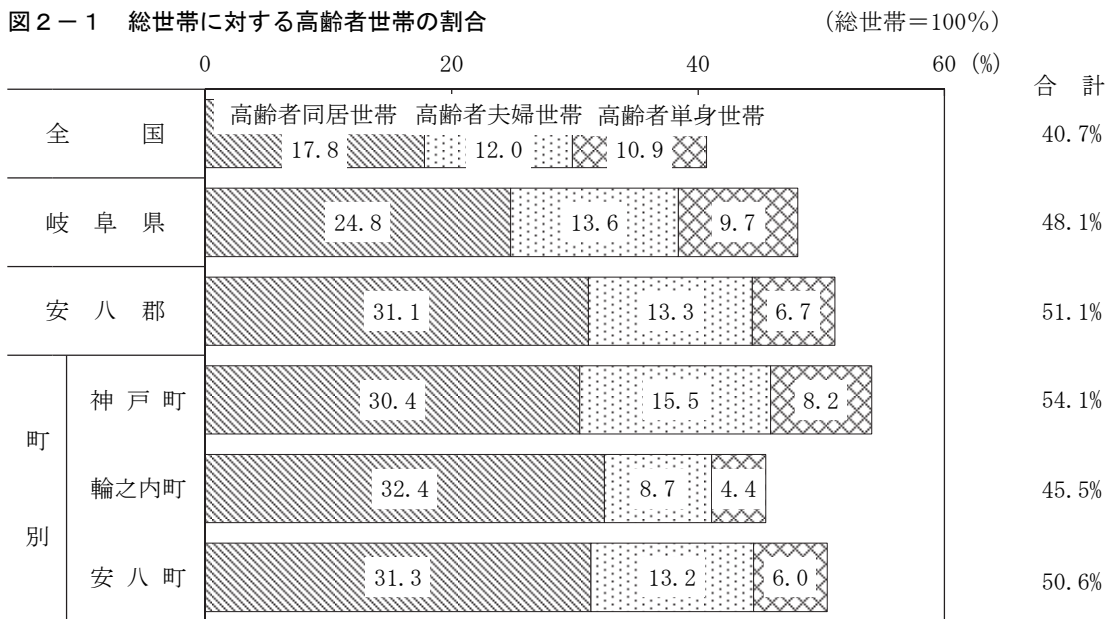
区 分		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
神 戸 町	全 世 帯	5,698	5,943	6,239	6,590	6,504	6,565
	高齢者のいる一般世帯	1,624 (28.5)	1,927 (32.4)	2,265 (36.3)	2,667 (40.5)	3,095 (47.6)	3,552 (54.1)
	65歳以上の単身世帯	96 (1.7)	123 (2.1)	174 (2.8)	269 (4.1)	382 (5.9)	540 (8.2)
	夫婦のいずれか又は両方が 65歳以上の夫婦のみの世帯	161 (2.8)	264 (4.4)	384 (6.2)	583 (8.8)	814 (12.5)	1,019 (15.5)
	上記以外の高齢者同居世帯	1,367 (24.0)	1,540 (25.9)	1,707 (27.4)	1,815 (27.5)	1,899 (29.2)	1,993 (30.4)
輪 之 内 町	全 世 帯	1,857	2,004	2,242	2,525	3,010	3,131
	高齢者のいる一般世帯	876 (47.2)	990 (49.4)	1,094 (48.8)	1,157 (45.8)	1,278 (42.5)	1,424 (45.5)
	65歳以上の単身世帯	19 (1.0)	33 (1.6)	44 (2.0)	56 (2.2)	87 (2.9)	138 (4.4)
	夫婦のいずれか又は両方が 65歳以上の夫婦のみの世帯	47 (2.5)	69 (3.4)	75 (3.3)	110 (4.4)	193 (6.4)	273 (8.7)
	上記以外の高齢者同居世帯	810 (43.6)	888 (44.3)	975 (43.5)	991 (39.2)	998 (33.2)	1,013 (32.4)
安 八 町	全 世 帯	4,253	4,330	4,447	4,767	4,900	4,709
	高齢者のいる一般世帯	1,175 (27.6)	1,375 (31.8)	1,518 (34.1)	1,778 (37.3)	2,087 (42.6)	2,381 (50.6)
	65歳以上の単身世帯	53 (1.2)	72 (1.7)	97 (2.2)	140 (2.9)	212 (4.3)	284 (6.0)
	夫婦のいずれか又は両方が 65歳以上の夫婦のみの世帯	71 (1.7)	119 (2.7)	210 (4.7)	303 (6.4)	463 (9.4)	623 (13.2)
	上記以外の高齢者同居世帯	1,051 (24.7)	1,184 (27.3)	1,211 (27.2)	1,335 (28.0)	1,412 (28.8)	1,474 (31.3)

資料：「国勢調査」

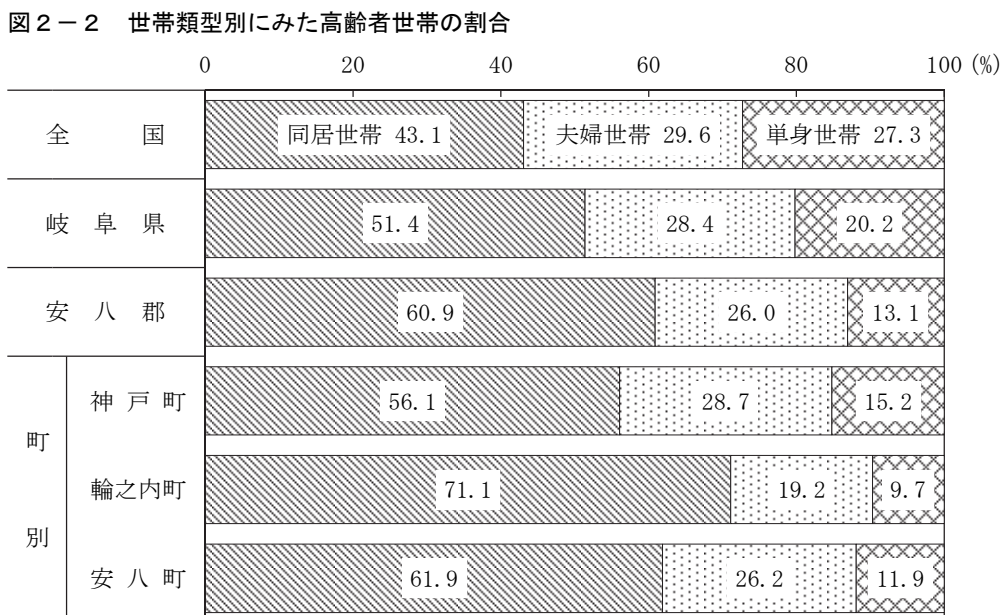
(2) 高齢者世帯の割合

図2-1は、総世帯に対する高齢者世帯の割合を全国平均および岐阜県平均と比較したものです。岐阜県は全国平均より高齢者同居世帯の比率が高く、安八郡は岐阜県平均よりもさらに高くなっています。高齢者世帯の比率が高いのは神戸町であり、輪之内町は岐阜県平均よりも低くなっています。

図2-2は、世帯類型の比率を分かりやすくするために、分母を高齢者世帯にしたものです。安八郡は、単身世帯（ひとり暮らし高齢者）の割合が、全国・岐阜県より低くなっています。



資料：「国勢調査」（平成27年）



資料：「国勢調査」（平成27年）

(3) 高齢者夫婦世帯

表2-2は、夫婦のいずれか又は両方が65歳以上の夫婦のみの世帯を、夫と妻の年齢別にみたものです。夫が65歳以上で妻が65歳未満の夫婦は311世帯、妻が65歳以上で夫が65歳未満の夫婦は25世帯、夫が80歳以上の世帯は282世帯、妻が80歳以上の世帯は140世帯と大きな差があります。このことから分かるように、一般的に夫より妻の年齢が低く、男性より女性が長寿であることから、女性がひとり暮らしになる確率は男性より高いといえます。

表2-2 高齢者夫婦世帯（夫、妻の年齢別・安八郡）

単位：世帯

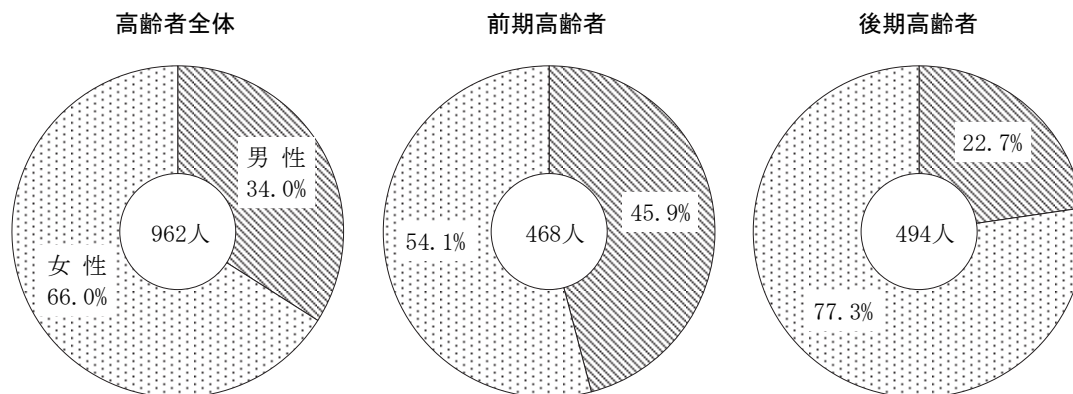
	年 齢	妻						計
		65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	
夫	65歳未満	-	18	5	1	1	-	25
	65～69歳	272	293	16	2	-	-	583
	70～74歳	34	326	195	16	5	1	577
	75～79歳	3	35	231	118	9	-	396
	80～84歳	2	1	26	113	48	4	194
	85歳以上	-	1	1	14	49	23	88
	計	311	674	474	264	112	28	1,863

資料：「国勢調査」(平成27年)

(4) 高齢者単身世帯

図2-3は、ひとり暮らし高齢者を男女別および前期・後期高齢者別にみたものです。ひとり暮らし高齢者の3分の2を女性が占めており、前項で述べたことを裏付けています。

図2-3 性別・年齢別高齢者単身世帯（安八郡）



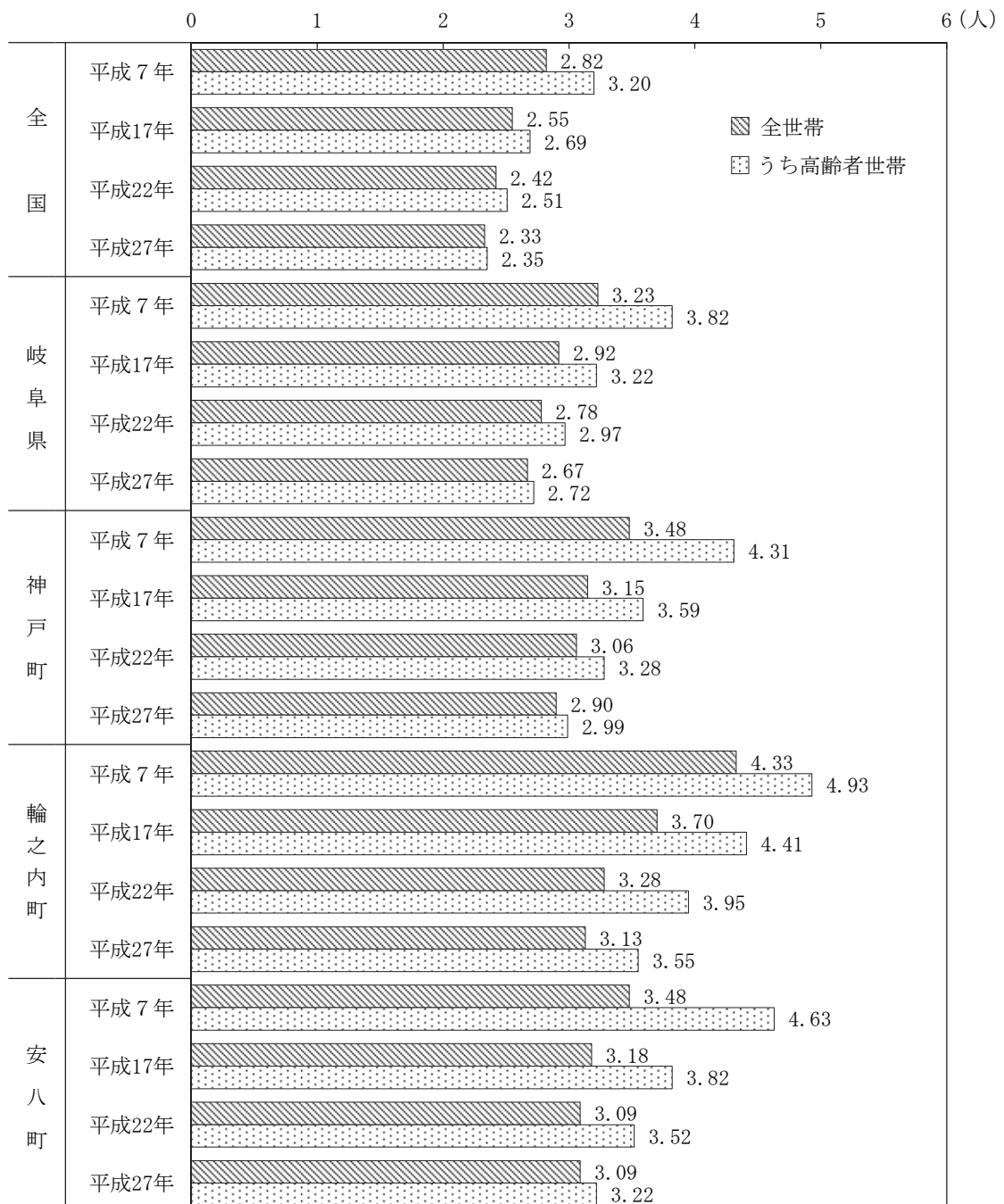
資料：「国勢調査」(平成27年)

2 世帯人員

(1) 平均世帯人員

図2-4は、全国、岐阜県および郡内3町の平均世帯人員の推移を表したものです。全国、岐阜県、郡内3町とも少子化・核家族化の進行等により、世帯人員が減少しています。郡内3町の平均世帯人員は、全世帯、高齢者世帯とも、全国平均および岐阜県平均をかなり上回った率で推移しています。

図2-4 平均世帯人員の推移

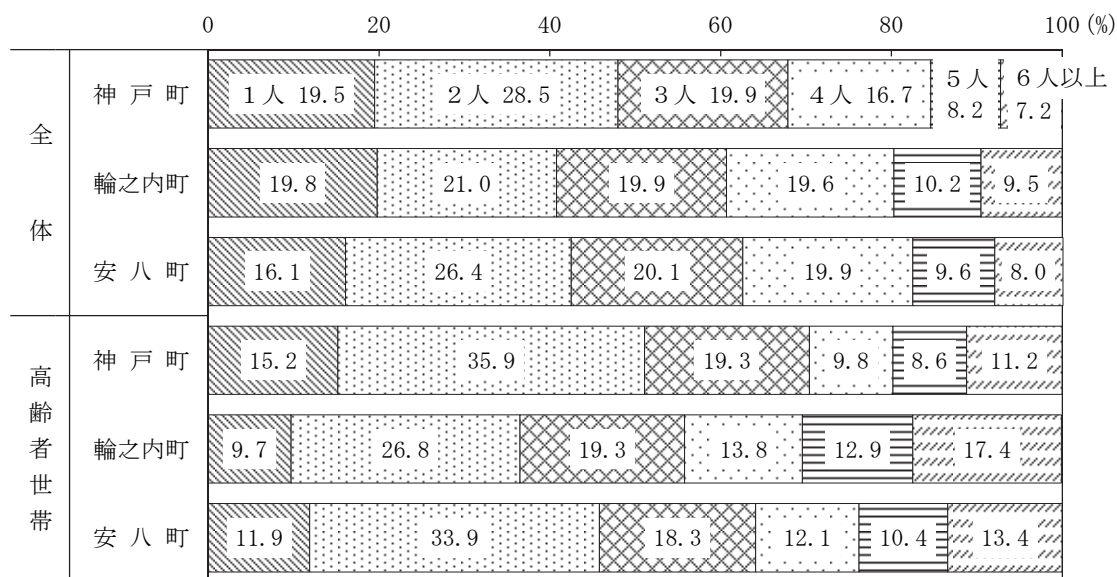


資料：「国勢調査」

(2) 家族数

図2-5により、各町の全世帯の家族数をみると、「2人」が最も高く、次いで「3人」となっており、「1人」もかなり高い率を占めています。一方、高齢者世帯をみると、「2人」が最も高く、次いで「3人」となっているのは全体と同傾向ですが、全体より「6人以上」が高く、「1人」が低くなっています。

図2-5 家族数



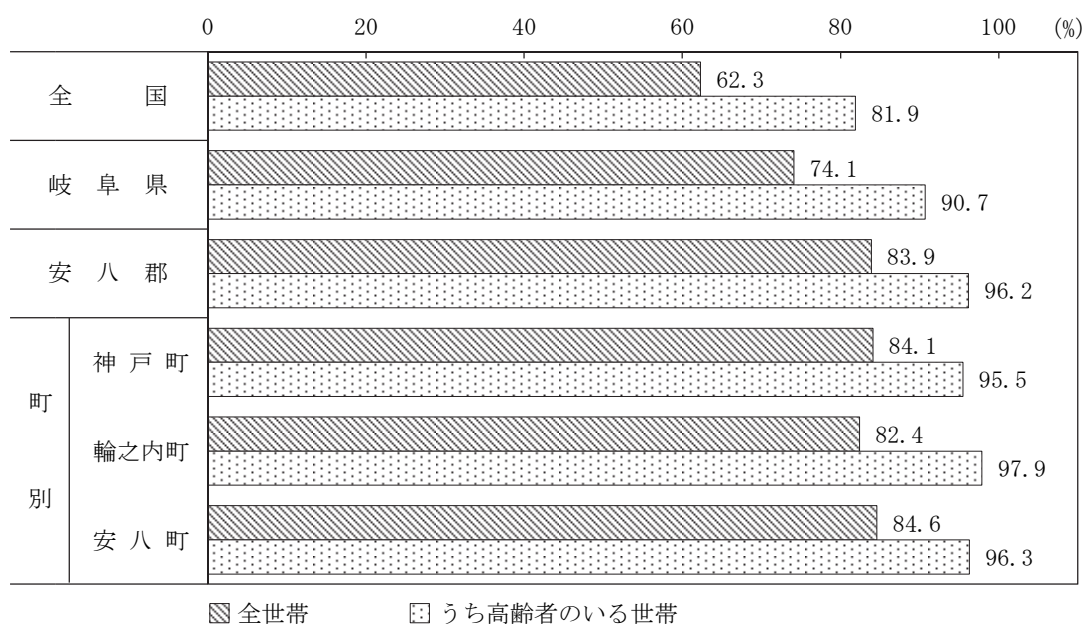
資料：「国勢調査」（平成27年）

第2 住宅の状況

図2-6は、全国、岐阜県、安八郡および郡内3町の持ち家率を表したものです。本郡の持ち家率は、全世帯および高齢者世帯とも全国および岐阜県よりかなり高くなっています。町別でも、すべてが全国および岐阜県を上回っています。

表2-3により、本郡の住宅の所有関係をみると、全世帯では「持ち家」が83.9%、次いで「民営借家」が12.9%となっています。これを高齢者世帯でみると、「持ち家」が96.2%、「民営借家」が2.5%であり、全世帯よりも持ち家率が12.3ポイント高くなっています。

図2-6 持ち家率



資料：「国勢調査」(平成27年)

表2-3 住宅の所有関係 (安八郡)

単位：一般世帯(%)

区分	持ち家	公営・公団 公社の借家	民営借家	給与住宅	間借り	計
全世帯	11,791 (83.9)	134 (1.0)	1,819 (12.9)	250 (1.8)	58 (0.4)	14,052
高齢者世帯	7,062 (96.2)	75 (1.0)	184 (2.5)	4 (0.1)	16 (0.2)	7,341

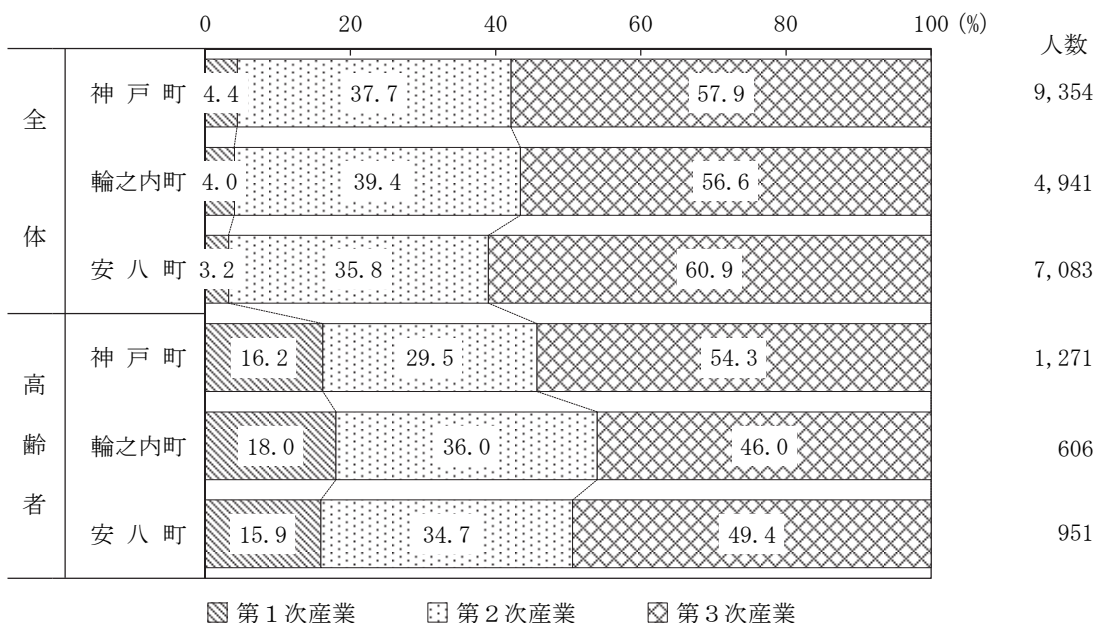
資料：「国勢調査」(平成27年)

第3 就業の状況

(1) 産業分類別就業者

本郡は、第1次産業および第2次産業の比率の高い地域でしたが、第1次産業である農業の従事者の減少が続いています。しかし、高齢就業者の第1次産業および第2次産業の占める率は、神戸町が45.7%、輪之内町が54.0%、安八町が50.6%と高くなっています。高齢になっても、無理のない範囲で働き続けることは、生きがいにもつながり、健康づくりにも貢献すると考えられます。

図2-7 産業分類別就業者

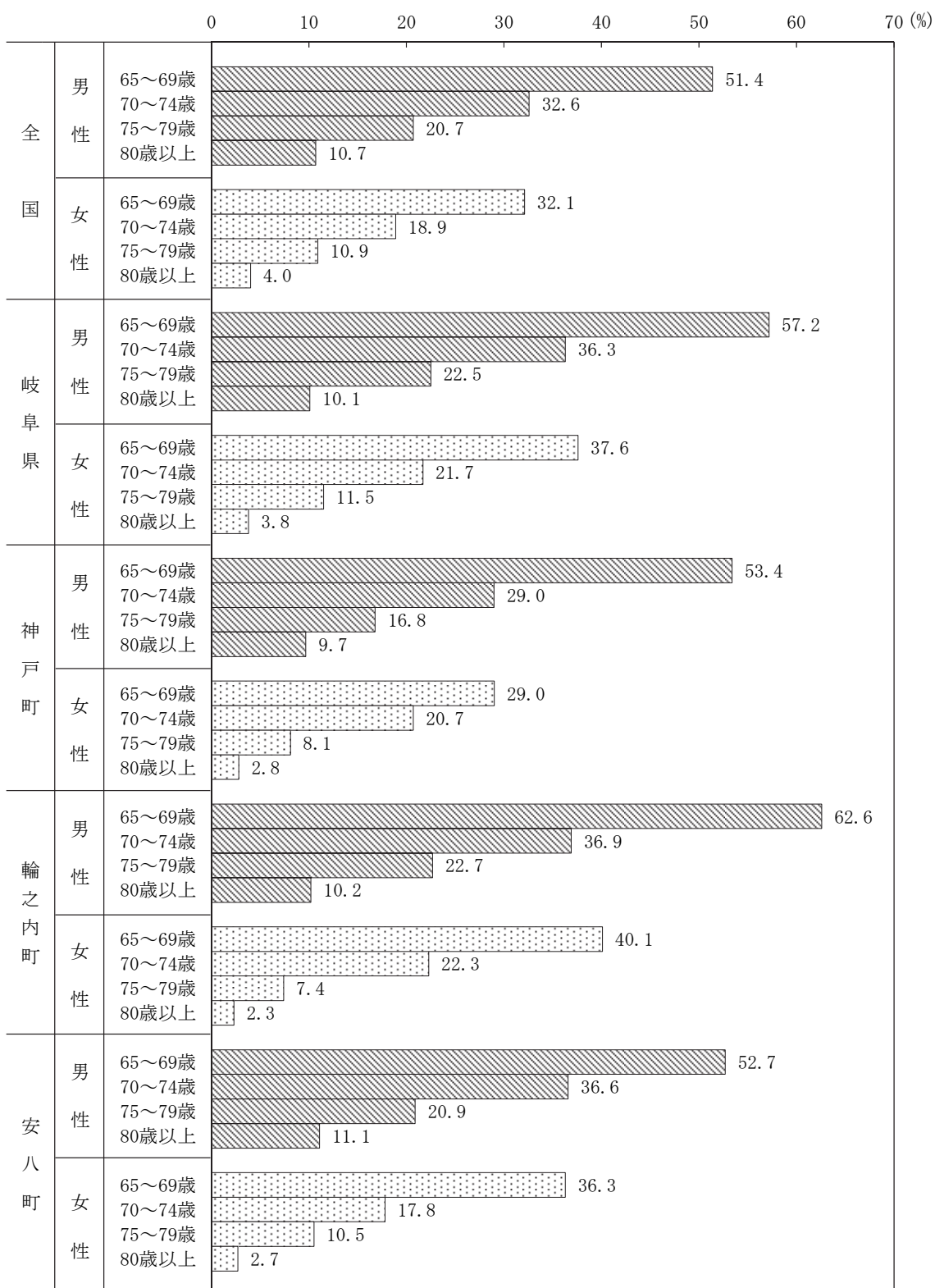


(注) 「分類不能の産業」を除く。
資料: 「国勢調査」(平成27年)

(2) 高齢者の就業率

図2-8により、性別・年齢別に高齢者の就業率をみると、当然のことながら、年齢階層が高くなるほど就業率は下がっています。輪之内町および安八町の高齢者の就業率は、全国的に全国より高くなっていますが、神戸町は全国および岐阜県を下回っています。その要因として、神戸町は他の2町と比較すると、都市化が進んでおり、農地が少ないことがあげられます。

図2-8 高齢者の就業率



資料：「国勢調査」(平成27年)